



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	277	13.1	96	9.2	202	8.4	137	9.2
2023年3月期第1四半期	318	12.8	88	44.0	220	3.9	125	7.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 322百万円 (50.5%) 2023年3月期第1四半期 652百万円 (19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	3.43	
2023年3月期第1四半期	3.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	27,111	26,001	90.7	614.32
2023年3月期	26,868	25,678	90.4	607.33

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,581百万円 2023年3月期 24,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	9.1	430	7.8	710	9.0	450	10.3	11.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	40,014,943 株	2023年3月期	40,014,943 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	909 株	2023年3月期	909 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	40,014,034 株	2023年3月期1Q	40,014,347 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、ロシアのウクライナ進行の長期化、資源・原材料価格の高騰、金融政策などの原因により、米国・EUの経済成長は鈍化傾向にあり、全体として先行きの不確実性が高まっております。

一方で当社グループの事業拠点である中国深圳市は、グレーターベイエリア（大湾区）の中心都市として海外から注目されており、ウクライナ情勢等の地政学的リスクについては大きな影響はないものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発事業の着工に備えて、改装費用を伴う長期入居予定の新規テナントの入居の見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても再開発の状況を見据えて長期間の契約更新は避けるなどの施策を継続的に実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は277百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益96百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益202百万円（前年同期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益137百万円（前年同期比9.2%増）を計上いたしました。

不動産開発事業について

当社グループが推進するプロジェクトは、子会社深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する土地（127千㎡）・建物（89千㎡）を再開発し、新たに世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的大手外資企業200社を誘致し、進出企業が本格的なR&Dやマーケティング拠点もしくは中国本社機能を置き、新たなイノベーションを巻き起こすための大規模施設「ワールド・イノベーション・センター」（仮称：WIC）（総床面積70万㎡）を建設する構想です。

WICプロジェクトは、深圳市福田区政府が皇冠電子の所在する車公廟地域の約32ヘクタールにおいて進めている大規模な都市更新再開発事業であり、当プロジェクトはその内約40%を占める開発主体です。当プロジェクトは、第1ステップの都市更新ユニット規制の計画草案が深圳市政府に承認され、現在第2ステップである開発主体独自の規制編成案を申請するため、深圳市都市規劃設計研究院及び株式会社日建設計と規制設計契約を締結して準備を進めており、今後開発の諸条件を固めた上で出来るだけ早期に着工し、2026年中にはグランドオープンを目指しております。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的な企業誘致活動も行っており、日本からは上場企業を中心に90社を超える先進的優良企業がWIC進出の意向を表明し、昨年度後半から誘致活動を始めた海外では米国、ドイツ、フランスなど欧米のフォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示しており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増えるものと思われれます。

現在中国深圳市において都市更新再開発事業としてWICプロジェクトを進めておりますが、当社は総合投資会社を標榜しており、当該プロジェクトを投資事業の第1号案件と位置付けております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、27,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加いたしました。この主な要因は、為替相場の変動により在外子会社の現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金等の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、26,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定及び利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,981	10,260
営業未収入金	141	94
その他	814	870
貸倒引当金	△41	△45
流動資産合計	10,896	11,179
固定資産		
有形固定資産	210	229
無形固定資産		
のれん	78	68
土地使用権	947	951
その他	0	0
無形固定資産合計	1,026	1,021
投資その他の資産		
長期貸付金	13,451	13,432
その他	1,283	1,248
投資その他の資産合計	14,735	14,680
固定資産合計	15,971	15,931
資産合計	26,868	27,111
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	70	75
引当金	2	0
その他	305	254
流動負債合計	378	330
固定負債		
退職給付に係る負債	8	8
その他	802	770
固定負債合計	811	779
負債合計	1,189	1,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,543	5,680
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,722	23,859
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	579	721
その他の包括利益累計額合計	579	721
非支配株主持分	1,376	1,419
純資産合計	25,678	26,001
負債純資産合計	26,868	27,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
営業収益	318	277
営業原価	48	49
営業総利益	270	227
販売費及び一般管理費	182	131
営業利益	88	96
営業外収益		
受取利息	67	70
為替差益	58	35
その他	6	0
営業外収益合計	132	105
経常利益	220	202
税金等調整前四半期純利益	220	202
法人税、住民税及び事業税	76	74
法人税等調整額	4	△22
法人税等合計	81	52
四半期純利益	139	149
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	125	137

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	139	149
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	513	173
その他の包括利益合計	513	173
四半期包括利益	652	322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551	279
非支配株主に係る四半期包括利益	101	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記事項(重要な会計上の見積り)に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に、重要な変更はありません。